

6月議会が終了

6月定例会市議会は18日に終了しました。日本共産党市議団は暮らしの要求実現へがんばりました

2800名の願いを込めた

中学校卒業まで医療費無料化を求める請願

否決



6月定例会市議会は18日終了しました。今議会では、共産党市議団が提案した、「県立高校の性急な統廃合をやめること」を求めた意見書が採択されました。

一方、ゴミ袋代の大幅な値上げや住民税の年少・特定扶養控除の廃止関連条例改正が共産党市議団以外の会派が賛成。また2800名もの市民から提出された、「中学校卒業までの医療費無料化を求める請願」は他会派が反対し不採択となりました。

「財源は？」と言って、他会派は反対

2800名の願いを込めた中学校卒業までの医療費無料化を求めた請願ですが他会派は、「財源はどうするか」と言って反対。賛成は共産党市議団だけでした。

財源と言うならば、年間約2億円もの同和関連予算や“派遣切り”を行っている村田製作所など市内大企業への振興補助金こそ廃止・見直すべきです。つまり、市政のあり方、税金の使い方が問われています。

ゴミ袋代 約2倍もの大幅値上げ

今議会ではゴミ袋代も大幅に値上げがされました。「必要なコストは市民に負担してもらう」と言うものですが、暮らしが大変な時、こんな大幅値上げは許されません。

共産党が提案

県立学校の性急な統廃合を行わないことを求める意見書

県教委が現在46校ある県立高校を統廃合する計画案を作成しています。これによると1学年5クラス以下の高校25校が統廃合の対象となります。

野洲高校も統廃合の対象

25校の内、野洲高校も統廃合の対象となっています。共産党市議団が提案した意見書は、「教育活動や学ぶ環境を脅かす性急な統廃合やめよ。父母・県民の意見を聞け」と求めています。意見書は全議員の賛成で採択され嘉田知事に提出されました。

6月議会の主な議案の態度

請願・意見書は共産党市議団が紹介及び提案

	太田健一	野並享子	小菅六雄	矢野隆行	梶山幾世	丸山敬二	西本俊吉	三和郁子	鈴木市朗	井狩辰也	市木一郎	坂口哲哉	田中孝嗣	立入三千男	高橋繁夫	内田聡史	奥村治男	中島一雄	田中良隆	河野司
	日本共産党			公明党		野洲ネット				野洲新風クラブ				新政クラブ						
住民税の増税となる年少・特定扶養控除廃止	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ゴミ袋代(手数料)の大幅な値上げ	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
子どもの医療費無料化を求める請願(中学校卒業まで)	○	○	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
普天間基地の無条件撤去を求める意見書	○	○	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
県立学校の性急な統廃合を行わないことを求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

やす民報

日本共産党野洲市委員会
2010年6月18日 №202

暮らしのご相談・要望
お寄せください

小菅六雄
野並享子
太田健一

(電話・FAX) 589-4971 (メール) shgdy177@ybb.ne.jp
(電話・FAX) 587-0985 (メール) no73kyo_ko@ybb.ne.jp
(電話・FAX) 588-3169 (メール) kensan.world21@docomo.ne.jp

市議団ホームページをご覧ください
<http://www.yasusigi.net/>